

天水稲栽培・種子生産 及び品種選定技術

Rainfed Rice Cultivation, Seed Production and Variety Selection Techniques

案件目標 | Objective

自国での優良な稲種子生産・供給に適したシステムを理解し、それに向けた技術的な課題に対応できる。

To understand the systems of the production and supply of quality rice seeds which is suitable for each participant's country and be able to address the technical challenges involved.

研修概要 | Outline

本コースは優良な稲種子生産・検査に携わる研究者、技術者、及び検査官を対象に、稲栽培・種子生産・品種選定について学ぶことを目的としています。研修員は、実習・講義・視察・討議を通して、稲種子栽培や種子システム構築に必要な知識・技術を身に着けることが期待されます。

This program is designed for researchers, technicians, and inspectors who engage in production and inspection of quality rice seeds, aiming to learn about rice cultivation, seed production, and variety selection. Participants will acquire knowledge and techniques for quality rice seed production and establishment of seed system, through practical trainings, lectures, site visits, and discussions.

事前プログラム（遠隔） | Preliminary Phase (online)

2026年3月2日～2026年3月20日
From March 2, 2026 to March 20, 2026

本邦プログラム（来日） | Core Phase in Japan

2026年4月12日～2026年10月17日
From April 12, 2026 to October 17, 2026

使用言語 | Language

英語 English



原原種・純系統種子生産実習 | Practice on production of basic seed & pure line seed



幼穂形成の調査実習 | Practice on survey for formation of young panicle



収量調査実習（個別実験） | Practice on survey for yield (Individual experiment)



葉面積の調査実習 | Practice on survey for leaf area

参加国 | Countries

カメルーン(1) コートジボワール(1) エチオピア(1) ガンビア(1) ガイアナ(1) マラウイ(1) モザンビーク(1) パプアニューギニア(1) フィリピン(1) セネガル(1) ザンビア(1) ジンバブエ(1) 計12名

Cameroon(1) Côte d'Ivoire(1) Ethiopia(1) Gambia(2) Guyana(1) Malawi(1) Mozambique(1) Papua New Guinea(1) Philippines(1) Senegal(1) Zambia(1) Zimbabwe(1) Total 12 participants



SDGs ゴール 2 – このコースは、飢餓・食料安全保障・栄養・農業のうち特に「飢餓をなくす」「生産量を増やす」目標に貢献します。
Goal 2: Zero Hunger - This contributes to the goal of “alleviating hunger and increasing production”.



このコースは、「アフリカ稲作振興のための共同体（CARD）」の目標達成に取り組んでいます。
This works to achieve the goal of “Coalition for African Rice Development (CARD)”.

2026年 4月「天水稻栽培・種子生産及び品種選定技術」コース
研修計画

日付	曜日	午前		午後	
		科目	内容	科目	内容
1	水				
2	木				
3	金				
4	土				
5	日				
6	月				
7	火				
8	水				
9	木				
10	金				
11	土				
12	日		研修員来日		
13	月	O	来日ブリーフィング	O	開講式(14:00~15:00) プログラムオリエンテーション(15:15~16:30)
14	火	O	コースオリエンテーション 1: 全体説明	O	コースオリエンテーション 2: 施設案内
15	水	O	ベンチマークテスト	P	インセプションレポート発表説明
16	木	O	来日手続き	O	来日手続き
17	金	P	グループ栽培実験及び生産力検定 試験説明	P	インセプションレポート発表会準備
18	土				
19	日				
20	月	O	個別面接1	P	インセプションレポート発表会準備
21	火	O	個別面接2	P	インセプションレポート発表会準備
22	水	O	インセプションレポート発表会	O	インセプションレポート発表会
23	木	L	実験計画法	P	グループ栽培実験及び 生産力検定試験計画発表会準備
24	金	P	グループ栽培実験及び 生産力検定試験計画発表会準備	P	グループ栽培実験及び 生産力検定試験計画発表会準備
25	土				
26	日				
27	月	P	グループ栽培実験及び 生産力検定試験計画発表会準備	P	グループ栽培実験及び 生産力検定試験計画発表会準備
28	火	L	共通実験:品種比較試験の説明 1	P	共通実験・グループ実験及び生産力検定試験計画発表会
29	水		昭和の日		
30	木	L	共通実験:品種比較試験の説明 2	P	種子消毒の実際

L:講義

P:実習・演習

V:視察

T:研修旅行

O:オリエンテーション/発表

2026年 5月「天水稻栽培・種子生産及び品種選定技術」コース
研修計画

日付	曜日	午前		午後	
		科目	内容	科目	内容
1	金	P	共通実験:品種比較試験区作成/種子準備	P	共通実験:品種比較試験区作成と播種
2	土				
3	日		憲法科目念日		
4	月		みどりの日		
5	火		こどもの日		
6	水		振替休日		
7	木	P	共通実習1:純系統・原原種生産播種説明	P	共通実習1, 2:純系統・原原種、保証種子の播種準備
8	金	P	共通実習1:純系統・原原種の播種	P	共通実習2:保証種子生産の播種(移植準備)
9	土				
10	日				
11	月	L	圃場試験法	P	グループ栽培実験1:試験区作成
12	火	P	土壌サンプリング	P	グループ栽培実験1:試験区作成
13	水	P	グループ栽培実験1:播種	V	つくばリサーチギャラリー
14	木	L	日本の稲生産の現状	P	グループ栽培実験2:試験区作成
15	金	P	グループ栽培実験2:試験区作成	P	グループ栽培実験2:播種
16	土	O	田植え祭		
17	日				
18	月	P	グループ栽培実験3:試験区作成	P	グループ栽培実験3:試験区作成
19	火	L	生産力検定試験法	L	生産力検定試験法
20	水	L	稲の病害と防除(概論)	P	グループ栽培実験3:播種
21	木	L	日本の稲作技術	P	生産力検定試験:試験区作成
22	金	V	茨城県農林水産部産地振興課訪問	P	生産力検定試験:播種
23	土				
24	日				
25	月	L	稲の一生と生長	P	グループ栽培実験1~3:苗立率調査
26	火	L	稲の形態的特性	L	稲の形態的特性
27	水	L	稲の純系統・原原種生産	L	稲の純系統・原原種生産
28	木	P	共通実習2:保証種子生産圃場準備	P	共通実習2:保証種子生産移植
29	金	P	共通実習1:純系統・原原種生産移植 説明	P	共通実習1:純系統・原原種生産移植準備
30	土				
31	日				

L:講義

P:実習・演習

V:視察

T:研修旅行

O:オリエンテーション/発表

2026年 6月「天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術」コース
研修計画

日付	曜日	午前		午後	
		科目	内容	科目	内容
1	月	P	共通実習1:純系統・原原種生産移植	P	共通実習1:純系統・原原種生産移植
2	火	L	作物統計演習1(平均と誤差)	P	グループ栽培実験1~3:苗立率調査
3	水	P	生産力検定試験:苗立率調査	L	生育調査法
4	木	L	稲の病害と防除1	P	グループ栽培実験1~3:生育調査
5	金	P	グループ栽培実験1~3:生育調査	P	共通実習2:保証種子生産圃場補植
6	土				
7	日				
8	月	P	グループ栽培実験1~3:生育調査	P	共通実習1:原原種・純系統圃場補植
9	火	L	土壌の物理性	P	生産力検定試験:生育調査
10	水	P	共通実験:品種選定試験調査	P	施肥量計算法
11	木	L	日本の稲種子生産システムと担当機関	P	共通実習1、2:圃場管理
12	金	L	土壌の化学性	P	グループ栽培実験1~3:生育調査
13	土				
14	日				
15	月	P	グループ栽培実験1~3:生育調査	P	グループ栽培実験1~3:生育調査
16	火	L	稲の原種と保証種子生産	L	稲の原種と保証種子生産
17	水	P	生産力検定試験:生育調査	V	ジーンバンク
18	木	L	稲の物質生産と光合成	L	稲の物質生産と光合成
19	金	P	共通実習1:異株の抜き取り1 (純系統及び原原種)	V	茨城県農業総合センター農業研究所
20	土				
21	日				
22	月	L	作物統計演習2(一要因の分散分析)	P	病害の顕鏡
23	火	V	JA種場:保証種子生産農家見学1	P	グループ栽培実験1~3:生育調査
24	水	L	稲の病害と防除2	P	グループ栽培実験1~3:生育調査
25	木	L	日本の稲種子生産の現状と課題	L	日本の稲種子生産の現状と課題
26	金	L	稲の生長(栄養生長期)	P	グループ栽培実験1~3:生育調査
27	土				
28	日				
29	月	L	気候変動	L	気候変動
30	火	L	作付体系の基礎	P	共通実験:品種比較試験調査

L:講義

P:実習・演習

V:視察

T:研修旅行

O:オリエンテーション/発表

2026年 7月「天水稻栽培・種子生産及び品種選定技術」コース
研修計画

日付	曜日	午前		午後	
		科目	内容	科目	内容
1	水	P	グループ栽培実験1～3:生育調査	P	グループ栽培実験1～3:生育調査
2	木	L	作物統計演習 3 (2要因の分散分析)	P	生産力検定試験:生育調査
3	金	L	アジア・アフリカの種子生産・供給システムの現状と課題	L	アジア・アフリカの種子生産・供給システムの現状と課題
4	土				
5	日				
6	月	P	統計処理の実際1	P	グループ栽培実験1～3:生育調査
7	火	V	茨城県農林振興公社1	V	JA大洗
8	水	P	グループ栽培実験1～3:生育調査	P	共通実習1:異株の抜き取り2 (純系統及び原原種)
9	木	P	共通実験:品種比較試験調査	P	生産力検定試験:生育調査
10	金	L	原種・保証種子生産技術1 (種の準備から圃場審査まで)	L	原種・保証種子生産技術1 (種の準備から圃場審査まで)
11	土				
12	日				
13	月	L	参加型品種選定技術	P	グループ栽培実験1～3:生育調査
14	火	P	共通実験:品種比較試験調査	P	生産力検定試験:生育調査
15	水	T	愛知県研修旅行(往路)	T	愛知県山間農業研究所(14:00~16:00)
16	木	T	広島県移動	T	広島県研修旅行:原爆科目念博物館
17	金	T	広島県研修旅行:(株)サタケ	T	広島県研修旅行(帰路)
18	土				
19	日				
20	月		海の日		
21	火	P	グループ栽培実験1～3:生育調査	P	グループ栽培実験1～3:生育調査
22	水	P	土壌分析 1	P	土壌分析 1
23	木	P	共通実験:品種比較試験調査	V	JA種子貯蔵施設見学(カントリーエレベーター)
24	金	P	グループ栽培実験1～3:生育調査	P	生産力検定試験:生育調査
25	土				
26	日				
27	月	P	共通実習2:保証種子生産圃場抜き取り2	P	共通実験:品種比較試験調査
28	火	L	稲の保証種子の審査と価格設定	L	稲の保証種子の審査と価格設定
29	水	V	茨城県農業振興公社 2	V	JA種場:保証種子生産農家見学2
30	木	L	日本の稲の品種改良1	P	統計処理の実際2
31	金	P	土壌分析 2	P	土壌分析 2

L:講義

P:実習・演習

V:視察

T:研修旅行

O:オリエンテーション/発表

2026年 8月「天水稻栽培・種子生産及び品種選定技術」コース
研修計画

日付	曜日	午前			
		科目	内容	科目	内容
1	土				
2	日				
3	月	V	茨城県地域農業改良普及センター	P	共通実験:品種比較試験調査
4	火	L	実験発表法	P	グループ栽培実験1～3:出穂調査
5	水	L	稲の交雑育種法	P	生産力検定試験:生育調査
6	木	L	籾の形成と稔実	P	稲の人工交配
7	金	P	稲の人工交配	P	グループ栽培実験1～3:出穂調査
8	土				
9	日				
10	月	P	共通実習1:純系統及び原原種圃場の管理	P	生産力検定試験:出穂調査
11	火		山の日		
12	水	P	共通実習2:保証種子生産圃場管理	P	グループ栽培実験1～3:データの取りまとめ
13	木	L	実験レポートの書き方1	P	共通実習2:保証種子生産圃場抜き取り3
14	金	L	実験レポートの書き方2	P	共通実験:品種比較試験調査
15	土				
16	日				
17	月	P	グループ栽培実験1～3:出穂調査	P	生産力検定試験:出穂調査
18	火	L	原種・保証種子生産技術2 (収穫準備から種子の保管まで)	L	原種・保証種子生産技術2 (収穫準備から種子の保管まで)
19	水	V	JA種場:保証種子生産農家見学3	P	共通実習2:保証種子生産圃場管理
20	木	L	収量と収量構成要素 1	L	収量と収量構成要素 1
21	金	L	収量と収量構成要素 2	L	収量と収量構成要素 2
22	土				
23	日				
24	月	P	グループ栽培実験1～3:データの取りまとめ	P	統計処理の実際3
25	火	P	グループ栽培実験1～3:データの取りまとめ	P	保証種子生産圃場抜き取り 4
26	水	O	フィールドデー	P	生産力検定試験:データの取りまとめ
27	木	P	中間発表会準備	P	中間発表会準備
28	金	O	中間発表会	P	グループ栽培実験1～3:データ見直し
29	土				
30	日				
31	月	L	種子の純化とQDS	L	種子の純化とQDS

L:講義

P:実習・演習

V:視察

T:研修旅行

O:オリエンテーション/発表

2026年 9月「天水稻栽培・種子生産及び品種選定技術」コース
研修計画

日付	曜日	午前		午後	
		科目	内容	科目	内容
1	火	V	茨城県農業振興公社 3	P	グループ栽培実験1～3:収量調査
2	水	L	日本の稲の品種改良2	P	生産力検定試験:収量調査
3	木	L	NERICAの特性と品種改良1	P	グループ栽培実験1～3:収量調査
4	金	L	NERICAの特性と品種改良2	V	JA種場:保証種子生産農家見学4
5	土				
6	日				
7	月	P	共通実験:品種比較試験調査	P	生産力検定試験:収量調査
8	火	T	北海道方面研修旅行(往路)	T	北海道方面研修旅行(往路)
9	水	T	北海道大学農学部	T	移動
10	木	T	北海道上川農業試験場	T	移動
11	金	T	北海道 道総研 遺伝資源部	T	北海道方面研修旅行(帰路)
12	土	O	収穫祭		
13	日				
14	月	P	共通実習2:保証種子生産圃場審査2	P	グループ栽培実験1～3:収量調査
15	火	L	米粒の品質と食味の生理生態	L	米粒の品質と食味の生理生態
16	水	L	稲種子の流通と販売	L	稲種子の流通と販売
17	木	L	統計演習 4(相関と回帰分析)	P	種子発芽試験と玄米審査1
18	金	L	日本の稲の品種登録とUPOV	L	日本の稲の品種登録とUPOV
19	土				
20	日				
21	月		敬老の日		
22	火		国民の休日		
23	水		秋分の日		
24	木	L	課題フレームワーク	L	課題フレームワーク
25	金	L	CARDと種子生産	L	CARDと種子生産
26	土				
27	日				
28	月	L	稲の収穫後処理技術1	L	稲の収穫後処理技術1
29	火	P	稲の収穫後処理技術2	P	稲の収穫後処理技術2
30	水	P	グループ実験・生産力検定試験結果取りまとめ	P	共通実験:品種選定試験結果取りまとめ

L:講義

P:実習・演習

V:視察

T:研修旅行

O:オリエンテーション/発表

2026年 10月「天水稻栽培・種子生産及び品種選定技術」コース
研修計画

日付	曜日	午前			
		科目	内容	科目	内容
1	木	L	玄米の品質と食味試験	L	玄米の品質と食味試験
2	金	P	グループ実験・生産力検定試験結果取りまとめ	P	共通実験・品種選定試験結果取りまとめ
3	土				
4	日				
5	月	L	アクションプランとファイナルレポート	L	アクションプランとファイナルレポート
6	火	P	実験成果発表会準備	P	実験成果発表会準備
7	水	P	実験成果発表会準備	P	実験成果発表会準備
8	木	O	実験成果発表会	P	アクションプランの作成
9	金	P	アクションプランの発表会準備	P	アクションプランの発表会準備
10	土				
11	日				
12	月		スポーツの日		
13	火	O	アクションプラン発表会	O	アクションプラン発表会
14	水	O	エバリュエーションテスト	L	エバリュエーションテストの回答と説明
15	木	O	住民登録抹消手続き	O	住民登録抹消手続き
16	金	P	原原種・純系統種子の調整と保存	O	コース評価会・閉講式
17	土		研修員帰国日		
18	日				
19	月				
20	火				
21	水				
22	木				
23	金				
24	土				
25	日				
26	月				
27	火				
28	水				
29	木				
30	金				
31	土				

L: 講義

P: 実習・演習

V: 視察

T: 研修旅行

O: オリエンテーション/発表